

五感の翼
を広げよう

iichiko
総合文化センター
大分県立美術館

抽選で/
読者プレゼント!!
詳しくは裏面をチェック!

総合情報誌

2024
WINTER
107
Take Free

iichiko総合文化センター・びわ湖ホール・札幌コンサートホールKitara・やまぎん県民ホール 共同制作

iichiko総合文化センター リニューアルオープン記念公演

歌劇

沼尻竜典作曲

竹取物語

光の環のなかを
かぐやは昇る

CONTENTS

iichiko presents ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

iichiko presents おおいた寄席 高砂亭

生誕120周年 サルバドール・ダリ -天才の秘密-

生誕120年・没後50年 生野祥雲齋展



いち早く予約！ お得に鑑賞！

びびメンバー大募集！



「友の会びび」とは大分県立美術館 (OPAM) と iichiko 総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。

会員になると様々な特典が！

- 01 OPAM主催展覧会の無料鑑賞・割引
- 02 iichiko総合文化センター主催・共催のチケット先行予約・割引
- 03 OPAMとiichiko総合文化センターの限定動画を観ることができる
- 04 駐車場券進呈
- 05 “びびSHOP”加盟施設で特別サービスがある などなど…

メンバーステージと年会費

KOTOBUKI	10,000円
TAKASAGO	5,000円
UME	2,500円

●特典内容はメンバーステージによって異なります。●月2回程度、最新情報をメールマガジンにて配信する、MEJIRO会員(無料)もあります。

びびSHOP

お買い物ができるびびSHOPをご紹介します！
メンバーカードの提示で以下のサービスが受けられます。

PortoPorta <small>(大分県立美術館ミュージアムショップ)</small> 大分市寿町2-1 大分県立美術館1Fアトリウム  5%割引 (一部除外品あり)	西本皆文堂 オアシス店 大分市高砂町2-50 オアシスひろば21 1F  3,000円以上お買上の方に レターセットプレゼント	園田ふとん店 大分市中央町3-5-17 ガレリア竹町商店街  ご来店で粗品プレゼント
エトウ南海堂 大分市中央町2-6-30  中古アナログレコード買取を 20%増額	岩尾文具 竹町本店 大分市中央町1-4-15  1,000円以上お買上の方に 鳩居堂の季節のはがきプレゼント	民芸の店 ぶんど 大分市府内町3-7-29  小鹿田焼き3,000円以上 お買上の方に粗品プレゼント
SELECT BEPPU 別府市中央町9-34  商品お買上の方に 国東半島ノート(写真:石川直樹)プレゼント	富士屋一也百 Hall&Gallery -はなやも- 別府市鉄輪上1組  温泉コンフィチュールMサイズ 100円引き (お1名様お1つ限り)	萬力屋 杵築市杵築157  2,000円以上お買上の方に 粗品プレゼント

抽選で/
読者プレゼント!!

プレゼントのご応募は
アンケートフォームから

応募はこちら▶



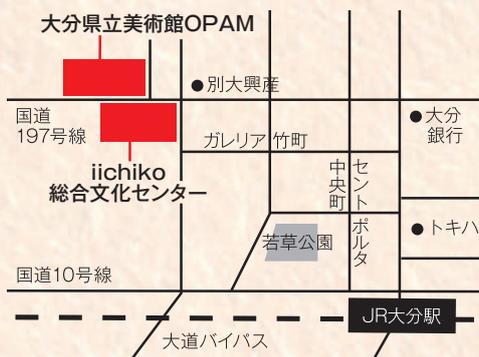
1 生野徳三作
オーナメント(1羽)
 **1名様**

2 粗目茶托2枚セット
(染・白各1枚)
 **1名様**

3 招待券
 ・歌劇『竹取物語』…………… **ペア2組 4名様**
 ・生誕120周年 サルパドール・ダリ-天才の秘密- …… **ペア5組 10名様**
 ・生誕120年・没後50年 生野祥雲斎展 …… **ペア5組 10名様**

※厳選なる抽選のうえ、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※ご応募に際してご記入いただいたお客様の個人情報は、当キャンペーンのプレゼント発送にのみ使用いたします。

締め切り
11/20(水)
23:59





BAMBOO PRINCESS

光の環のなかをかぐやは昇る

ここに注目!
幻想的な月とオーケストラの
共演もステキ!

オペラでもっともお祭りの時に見るお芝居のような、もっと気軽に親しめる娯楽だったんです。でも、それが次第に高い芸術性を求められるようになってしまっただ。そこで沼尻さんは、娯楽としてのオペラの本質を大切にするために、親しみやすい昭和歌謡的なメロディーや、昭和のギャグのような演出をたくさん取り入れることに徹したんです。今回そのアイデアを最大限に膨らませたいと思います。

ヴェルディが作曲した有名な「女心の歌」という曲に、面白い話があります。ヴェルディは「この曲は絶対に流行る！」と確信して、初演の前にこの曲が漏れないように、歌い手にも前の晩まで楽譜を渡さなかつたんです。実際、翌日初演で歌われてから、街中の人がこの歌を歌っていたそうです。こんなふうに、みんなが思わず口ずさんで

思うんです。そして、今回歌い手が演技を行うアークテイングエリアを非常に狭く設定しています。通常のオペラの舞台は、18m×18mくらいなのですが、本作は栗山先生が大事にしていた日本的な「静」の表現を大事にするために、能舞台を意識した狭い空間にしました。役者同士が濃密に関わるので、その中で繰り広げられるコミカルな表現を楽しんでもらいたいですね。

しまうことこそ、オペラの本当のあるべき姿だと思っています。僕たちの一番の課題は、「映画を観に行こう」と同じレベルで、人々が「今日はオペラに行こう」と思ってくれるようにすることです。オペラが娯楽の選択肢のひとつになることを願っています。



これまでiichikogranシアタで何度か演出をしていますが、その度に地元の方たちと共演してきました。今回は大分県立芸術文化短期大学の学生さんたちに加え、地元の合唱団の方や、声楽家の方が参加してくださいます。再び大分の方たちと一緒にステージをつくれるのが非常に楽しみです。

それから、月の使者役として大分出身のびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーの渡辺玲美さんが出演します。渡辺さんとはこれまで何回も一緒に歌を歌ったことがありますが、この歌を歌うならこの人しかいないね、ってわかってもらえらると思います。破天荒な方なので(笑)、彼の演技は必ず楽しんでいただけるでしょう。

最後に、大分の方たちにメッセージをお願いします。iichikogranシアタは音響や舞台の機構も含めて、九州で一番と言ってもいいくらい設備の整ったホールです。この場所ですべてを演出できることを本当に楽しみにしています。

チケット発売中

iichiko総合文化センター・びわ湖ホール・札幌コンサートホールKitara・やまぎん県民ホール共同制作

沼尻竜典作曲 歌劇『竹取物語』(全5景/日本語上演、日本語・英語字幕付)

開演時間:14:00 指揮:阪 哲朗 演出:中村敬一 出演:砂川涼子、晴 雅彦、渡辺玲美、びわ湖ホール声楽アンサンブルほか 管弦楽:九州交響楽団 料金:[全席指定]GS席6,000円、S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、C席2,000円、U25割A~C席 半額※未就学児入場不可、無料託児あり お問合せ:iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] Tel:097-533-4004

iichiko総合文化センター・びわ湖ホール・札幌コンサートホールKitara・やまぎん県民ホール 共同制作

iichiko総合文化センター リニューアルオープン記念公演

歌劇

沼尻竜典作曲

竹取物語

全5景 日本語上演/日本語・英語字幕付



開催 12/1(日) 会場 iichikoグランシアタ

2024年12月1日(日)に、iichikoグランシアタで、歌劇『竹取物語』が上演されます。日本人にとって親しみやすいテーマである本作の見どころや、歌劇(オペラ)に対する想いについて、演出の中村敬一さんに語っていただきました。

ここに注目!
オペラでは珍しく
舞台上にオーケストラが!!

歌劇『竹取物語』をきっかけに
人々の娯楽のひとつに
オペラという選択肢を提供したい

演出家 中村敬一

——中村さんは「竹取物語」の2022年上演時にも演出を手がけています。本作の見どころを教えてください。

本作は、オペラを知り尽くした指揮者である沼尻竜典さんが書かれた作品で、2015年の初演では僕の師匠でもある栗山昌良先生が演出を担当されました。歌舞伎や能といった日本の演劇の要素が、戦後のいろんなお芝居やミュージカルの持つレビュ的な華やかさとうまく融合しているのが特徴です。

22年に引き続き、今回も初演のテイストを残しました。また、「動」だけでなく「静」という和の表現を活かした演出が見どころです。

ここに注目!
コミカルな動きも
見どころのひとつ



世界屈指のオーケストラ、 待望の大分公演



指揮

パーヴォ・ヤルヴィ

ヴァイオリン
ヒラリー・ハーン

© Chris Lee

© Gaëtan Bally

iichiko presents

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

開催 12/15(日) 会場 iichikoグランシアタ

パーヴォ・ヤルヴィ率いる世界屈指のオーケストラが、
豊かな表現力で幅広い世代を魅了するヒラリー・ハーンとともに大分へ！
本公演の魅力を音楽ライターの小出和明さんに伺いました。

2020年12月に予定されていたものの、
コロナ禍によって惜しくも中止になったドイツ・
カンマーフィルハーモニー管弦楽団(以下、
カンマーフィルと略)の来日公演が、4年を
経て実現する。同年は大分県立美術館の
開館5周年にあたり、その記念事業の一環
として企画された公演だった。また7年ぶ
りの海外オーケストラの来演でもあり、関係
者と聴衆の期待は高かった。中止の無念さ
は大きかっただろう。今回は、満を持しての
公演となる。

カンマーフィルは、1980年に音楽大学
の学生有志によって設立されたアマチュア楽
団が母体となっている。しかしながら
1983年にニューヨークの国連本部で演
奏、翌年には有名ヴァイオリニストのギドン
・クレメルよりオーストリアの音楽祭に招
かれるなど、アマチュアの域を超えた活動ぶ
りで注目されていた。そして1987年、フ
ランクフルトを本拠地にプロ楽団として正式
に発足している。1992年に本拠地を現
在のブレーメンに移し、以来、カンマーフィルと
共演するために多くの名指揮者やソリスト
がこの地を訪れるほど、聴衆だけでなく音楽
家をも魅了し続けている。

創設100年を越える老舗楽団が多く存
在するヨーロッパにおいて、カンマーフィルはと
ても若いオーケストラといえる。にも関わら
ず、これほどの評価を得ていることは、稀有
なことだ。その要因の第一は、優れた演奏者
が揃っていることだろう。しかし、それだけで
は魅力的な音楽は作れない。楽団員が一体と
なる、集中力が欠かせないのだ。

楽団名の「カンマー」は「小部屋」という意
味で、カンマーフィルは通常のオーケストラよ

り小ぶりな、室内楽団の編成をとっている。

その少数精鋭的な一体感と、学生たちが自主
的に設立したアマチュア楽団が出发点という
成り立ちが、集中力のある豊かな音楽を生
み出すのだろう。現在も楽団員自らが株主
となり、オーケストラ事業の経営を全面的に
担うという、世界でも例のないシステムを
採っている。

パーヴォ・ヤルヴィは、1962年にバルト
三国の1つ、エストニアに生まれた。父は名指
揮者のネーメ・ヤルヴィ、弟のクリスチャンも
指揮者で、妹のマリーカはフルート奏者とい
う音楽一家の一員だ。出生地タリンの音楽
学校を経て父とともに渡米し、レナード・
バーンスタインをはじめオーマンディ、シヨルティ
など同国で活躍する巨匠たちに指揮を学ん
だ。早くから頭角を表し、欧米の名門オーケ
ストラの数々に招かれ、重要なポジションを
得てきた。日本でもNHK交響楽団の名譽
指揮者となっている。

カンマーフィルの芸術監督は2004年か
ら務めており、今年が就任20周年の節目とな
る。4月には本拠地のブレーメンで祝賀演奏
会が開かれた。開演前の公開トーク中、「この
ドリームチームが今後も続くことを願って
……」という関係者の発言には、聴衆から盛
大な喝采が沸き起こったという。楽団とも
に地元で愛される存在感は、小澤征爾と
ポストン交響楽団の関係に思わせる。4年
の延期が、士気高まる20周年に重なったこ
とは、むしろ幸運といえるかもしれない。

プログラムはシューベルトの『イタリア風序
曲』から始まる。歌曲王として『野ばら』や
『魔王』が有名だが、管弦楽曲にも傑作が多
い。この作品は、当時ウィーンで流行してい

ロッシーニの音楽に触発されて作曲されたとい
う。軽快で牧歌的な親しみやすい小品だ。

2曲目、ベートーヴェンのヴァイオリン協
奏曲でソロを務めるのは、今や中堅となった
かつての天才少女、ヒラリー・ハーンだ。
1979年生まれ、米国ボルティモア出身。
1991年、11歳で初リサイタルを開き、12
歳でボルティモア交響楽団と共演。以降、
次々に同国のメジャーオーケストラと共演を
重ね、1994年にはヨーロッパデビューも
果たした逸材だ。

幅広いレパートリーを自然な解釈で演奏
し、明快で流麗な音楽を生み出す才能は、い
かにもアメリカ育ちらしい伸びやかさに満ち
ている。SNSを通してクラシックの魅力を
広め、ファンとの交流にも活用するという現
代的な一面を持ちながら、古典に対するアプ
ロチはあくまでも正統派。そんな彼女が、
このジャンルではベートーヴェン唯一の作品
で、ブラームス、メンデルスゾーンとともに「三
大ヴァイオリン協奏曲」と称される名曲を、
どんなふうに聴かせてくれるのか？ 実に楽
しみな選曲だ。

最後はモーツアルトの交響曲第41番。ローマ
神話の最高神にちなんだ『ジュピター』という
愛称で知られている。これは作曲家自身によ
るものではなく、輝かしく荘厳でスケールの
大きな曲想から、後世に付けられたもの。し
かしベートーヴェンの『運命』と並び、まさにこ
の曲のイメージにぴったりの愛称だ。ドイツ
古典派の傑作となれば、ヤルヴィとカンマー
フィルの十八番。極上の響きでホールと聴衆
の心を満たしてくれるだろう。

音楽ライター・小出和明

PROGRAM

シューベルト / イタリア風序曲 D591
ベートーヴェン / ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.61(ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン)
モーツアルト / 交響曲第41番 ハ長調 K.551『ジュピター』

iichiko presents

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

チケット発売中

開演時間:15:00 料金:[全席指定]GS席10,000円、S席8,000円、A席6,000円、B席4,000円、U25割 A、B席半額※未就学児入場不可。
無料託児あり。指揮:パーヴォ・ヤルヴィ、ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン、オーケストラ:ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 お問い合わせ:
iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] Tel:097-533-4004

© Julia Baier

THE DEUTSCHE KAMMERPHILHARMONIE BREMEN

「サルバドール・ダリ展」のみどころを学芸員がご紹介！

Dali みどころ 1

エキセントリックなダリのイメージ！
実は繊細で内向的？

この写真に注目！

フィリップ・ハルスマン
サルバドール・ダリ 1954/2020年
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

皆さんよくご存じの、ダリの肖像写真です。ヒゲを立てて、目を開いて、こちらの方を見つめています。ダリは、エキセントリックな出来事に事欠かない芸術家です。ロンドンでの講演会に潜水服を着てきた時には、空気穴が閉まっていて途中で酸欠になりかけたほどです。
本展は、ダリが私たち観衆に魅せた「シュルレアリスト・ダリ」とその背景にある「人間・ダリ」の複雑で繊細な内面を探り、世界中で愛されているダリがいかなる芸術家であったのか、多様な側面を明らかにいたします。

Dali みどころ 2

だまし絵的な作品？

この作品に注目！

サルバドール・ダリ
ピキニの3つのスフィンクス 1947年
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

広大な土地に巨大な後頭部がそびえ立ち、その白髪は原爆投下時に生じるキノコ雲とのダブル・イメージになっています。遠景の山の奥に描かれた後頭部と画面左手の樹木にも同様の特徴が現れています。
本作の主題は、1945年以降、ピキニ環礁で繰り返し行われたアメリカ軍による核実験です。1940年代以降のダリは原爆や核実験に強い関心を寄せていたので、その思いがよく表れています。

Dali みどころ 3

食べ物がいっぱい？

この作品に注目！

サルバドール・ダリ
ガラとロブスターの肖像 1933年頃
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

ダリは生涯をとおして「食べる」という行為に並々ならぬ執着を持っていた作家です。自伝の中で「幼い頃は料理人になりたかった」とも書いています。本展の出品作品にも、ロブスターや卵などの食べ物が頻りに登場します。
また、ダリの作品でおなじみの溶ける時計も、溶けたカマンベールチーズから着想を得たそうです。溶ける時計がどこにあるのか、ぜひ探してみてください。

生誕120周年
サルバドール・ダリ 天才の秘密

開催時間:10:00~19:00(入場は閉館の30分前まで) ※金・土曜は~20:00
料金:一般1,400(1,200)円/大学・高校生 1,000(800)円、中学生以下無料 ※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額) TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料 お問合せ:大分県立美術館 Tel.097-533-4500

天才の秘密

会期 2025年 11/22(金)~1/19(日)

12/20(金)は休展

会場 大分県立美術館 1階 展示室A

お誘いあわせの上
お越しください！

三遊亭歌奴

大分県大分市出身。中学時代に落語と出あい、以来その世界に魅了され、高校時代は「落語少年」として注目を集める。高校卒業後、1995年に三代目三遊亭圓歌師匠に入門。2008年に真打昇進。古典落語を得意とする実力派。趣味はドライブと70~80年代のドラマ鑑賞。

Q1 寄席とは
どんなところですか

寄席は、落語をはじめとする古典芸能が楽しめる大衆演芸場で、ほぼ年中無休で落語中心の公演を行っている場所を「落語定席」(らくごしょうせき)といいます。1カ月を10日ごとに区切り、上席(かみせき)、中席(なかせき)、下席(しもせき)で出演者やプログラムが変わります。

Q2 どんな演目が
見られるのでしょうか

落語・講談をはじめ、「色物」と呼ばれる紙切り、漫才、奇術(マジック)など、いろんな芸を見ることができますよ。1日の公演は昼と夜の部に分かれていて、公演の最後はそれぞれの「トリ」(責任者)を務める真打の落語で終わります。

Q3 寄席の醍醐味や
楽しみ方を教えてください

落語というのは短い物語を、お客さんに想像してもらって、それをいくつも続けて聴くと、どうしても疲れるんですね。そこで、頭を空っぽにしてストレートに見て楽しめるのが、紙切り、漫才、奇術などの色物。落語の間に色物の方々が入ってくれてこそ、寄席全体が盛り上がります。

キラッ

Q4 歌奴師匠が考える、
寄席の魅力とは？

先ほども言ったように、寄席は個人プレーに見えて、実は出演者全員でつくり上げるもの。前方の出番の人は雰囲気盛り上げるように笑わせにいて、真ん中に出番の人たちがあたままたお客さんのテンションを保って、おしまいはトリがピシッと締める。その日の客層や雰囲気によって、それぞれが披露する演目やネタを直前に決めるので、連携プレーが生み出すライブ感は、寄席ならではの魅力だと思います。

お楽しみ！

Q7 「おおいた寄席 高砂亭」を楽しみに
している皆さんへメッセージを
お願いします

今回は東京の寄席で活躍している芸人十数名が、そのまま大分へと参ります。落語会ではなく、寄席の地方公演はなかなか珍しいと思うので、ぜひ新年の始まりに、ゆったりとした気持ちで楽しんでいただけたらうれしいです。

iichiko presents おおいた寄席 高砂亭

演目は昼夜変更予定です

時間:昼席11:00~夜席16:00~ 料金:[全席指定]一般 3,000円、U25割 1,500円※昼夜通し券/一般 5,000円、U25割 2,500円(通し券の取扱いはiichiko総合文化センター1階インフォメーションまたは電話(友の会びび会員:097-533-4005、一般:097-533-4004)のみ。※未就学児入場不可 ※無料託児、障害者手帳をお持ちの方の招待あり 出演:柳亭市馬、桂 文治、三遊亭歌奴、古今亭駒治、三遊亭歌彦(以上落語)、一龍斎貞弥(講談)、伊藤夢葉(奇術)、林家楽一(紙切り)、立花家あまね(民謡) お問合せ:iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] Tel:097-533-4004

iichiko presents

おおいた寄席
高砂亭

昼夜2回公演

2025年 1/11(土) 会場 iichiko音の泉ホール

落語をはじめとする様々な演芸が楽しめる「おおいた寄席 高砂亭」が、2025年1月にiichiko音の泉ホールで行われます。そもそも「寄席」ってどんなもの？ 出演者の一人である落語家の三遊亭歌奴さんに、素朴なギモンや見どころを伺いました。

Q5 今回は柳亭市馬師匠と桂文治師匠も
ご出演ということで、大分県出身の
落語家さんが勢揃いですね

市馬師匠、文治兄さん、私を含め、大分県出身の落語家はよく周りから「スケールが大きい」「舞台が広く感じる」と褒めていただくことがあります。まあ、全員声がでかいですからねえ(笑)。そんなところも感じてもらえたら嬉しいです。

落語に講談、奇術、紙切りなど
新春の笑い初めはこれで決まり！

担当学芸員の一推し！



生野祥雲齋展

生誕120年 ———— 没後50年
SHONO SHOUNSAI RETROSPECTIVE

2025年
会期 12/7(土)~1/23(木)
会場 大分県立美術館 3階 展示室B



1 生野祥雲齋
《時代竹編盛籃 心華賦》
1943年



生野祥雲齋

形を生み出し、竹の、竹籃の、そして竹工芸の、全ての魅力を作品によって伝えた祥雲齋。ぜひこの機会に余すところなくご鑑賞いただけますと幸いです。

大分県立美術館では初の回顧展！
戦前〜50年代の優品を
一挙にご紹介！

全国から名品が集結！

祥雲齋は1940年に《八稜櫛目編盛籃》で初めて文展に入選し、1953(昭和28)年に《松葉編盛籃》(国立工芸館蔵)が落選するまで、数々の作品を文展/日展に連続入選させました。

中でも1943年に特選に選ばれた《時代竹編盛籃 心華賦》(写真1)は、五弁の花びらのような形が美しい、戦前の名品です。この時期、祥雲齋は伝統的な盛籃の形式の中に、新しく立ち上げに櫛目編を用いた、独自の

の盛籃で文展/日展に何度も入選しました。《時代竹編盛籃 心華賦》は櫛目編で立ち上げた部分に柔らかな曲線を持たせ、かつ、ひこの細さを少しずつ変化させることで、花びらの柔らかさや軽さをよく表しています。このようなひこの美しさや緑の籐ががりの細かさなど、初期からこの時期を中心に見られる繊細な技術の素晴らしさにも注目です。

日展落選を経験した祥雲齋はその後、彫刻作品のようなオブジェ的な作品へと方向を転換させていきます。まず1954(昭和29)年からのいわゆる「波3部作」と呼ばれる、波を題材とした作品を次々発表します。

1956年の《竹華器 怒濤》(国立工芸館蔵(写真2))は荒れ狂う大波、その動きのダイナミックさを櫛目編で大胆に造形しています。波の頂点で竹ひこがひねられており、構

成に動きが感じられるのです。竹華器という作品名がついていますが、既に用途から離れた、美術作品としての存在感を放っています。

また翌年の1957(昭和32)年には《炎》(写真3)を発表し、日展で特選・北斗賞をダブル受賞しました。同じ作品がもう1点制作され、大分県、大分市などから連名で昭和天皇に献上されたことでも知られています。吊り籠の形式で制作されており、櫛目編がゆるやかに弧を描き、底に向かってひねりを加えつつ収束するような形になっています。縁はそれまでの盛籃とは異なり、波のような不規則な曲線を描いています。決まった形のない炎が造形的によく捉えられています。

素材としての竹の美しさ

1950年代末から1960年代頃には、祥雲齋は竹自体の素材の美しさに着目した作品を制作していきます。《白竹投入華籃

生誕120年・没後50年
生野祥雲齋展
見どころ紹介！

生野祥雲齋(本名:秋平)(1904-1974)は大分県別府市に生まれました。1923(大正12)年に竹工芸家の佐藤竹邑齋(ひだり)入門すると2年後には独立して夢雀齋(むせくさい)楽雲(らくうん)を名乗ります。師である佐藤竹邑齋が1929(昭和4)年に没してからは皇族への献上品の製作依頼も受けるようになり、その実力は早くから認められていました。

1940(昭和15)年にはその年の文展に代わる「紀元二千六百年奉祝美術展覧会」で初入賞を果たすと、1943(昭和18)年には特選、1956(昭和31)年には北斗賞、翌年にはその両方を受賞し、彫刻的で大胆な造形性を持つ作品によって、竹工芸を美術品として世に広めました。その革新的な功績が認められ、1967(昭和42)年には竹芸の分野で重要無形文化財保持者に初めて認定されています。

本展では、生誕120年・没後50年を記念して、生野祥雲齋の作品の中から、唐物風の初期作、古典的構成に櫛目編を新たな感覚で取り入れた技巧的な作品群、さらに櫛目編を大胆に用いた彫刻的な作品や、晩年の竹の素朴な美しさや力強さを生かした作品まで、幅広い作風の展開をご紹介します。

激動の近代にとどまることなく斬新な造

行々子(あらいりか)《写真4》は、網代編と櫛目編を用いながらもあえてざっくりとした不規則な編み上げりに仕上げ、素朴な作風が特徴的です。行々子とは水辺に棲むオオヨシキリという鳥の別名。水鳥の棲む芦原の風景を思わせる作品とも言えるでしょう。

大分県立美術館 学芸員 柴崎香那

生誕120年・没後50年 生野祥雲齋展

開催時間:10:00~19:00、金・土曜~20:00
(入場は閉館の30分前まで) 観覧料:一般1,000(800)円、大学・高校生800(600)円、※中学生以下無料 ※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料 お問い合わせ:大分県立美術館 Tel.097-533-4500



2 生野祥雲齋《竹華器 怒濤》1956年 国立工芸館蔵
撮影者:米田大三郎



3 生野祥雲齋《炎》1957年



4 生野祥雲齋《白竹投入華籃 行々子》1965年

IV 2024 コレクション展IV 心のイメージ

会期 **11/30(土)~1/27(月)**
休展日 12/23(月)

会場 **大分県立美術館 3階 コレクション展示室**

みどころ1 生命誕生の神秘



高山辰雄《母》1970年

こわばった姿勢でじっと一点を見つめる母親と羊水に包まれた嬰兒。画面上方の白い帯は、子供が生まれる前の無限の時間を表しているといえます。生命誕生の神秘を象徴するかのようこの作品には、高山辰雄の「生」に対する希望と不安が母の想いとして写し出されているようです。

みどころ2 生と死を見つめて



糸園和三郎《鳥と青年》1959年

糸園和三郎は子どもの頃に骨髄炎を患って以来、常に病氣と隣り合わせの人生を歩みました。本作品は48歳の時に生死を分ける大病を患った直後に制作された作品です。飛び立つ鳥を見上げる青年の姿には、絶望的な状況の中で、生と死を見つめる画家の心境が映し出されているようです。

みどころ3

日本画のシュルレアリスム



田口社《季節の停止》1938年

手前のテーブルには様々な種類の蛾と昆虫標本を作製するための用具が並べられ、奥には一組の男女が横たわっています。なんとも不思議な光景を軽やかな明るい色彩で描き出した本作品は、田口社が新しい日本画の創造を目指して仲間とともに立ち上げた歴史美術協会の第1回展の出品作。シュルレアリスムをいち早く日本画に取り入れた意欲作です。

関連イベント

**びびコレクション展
オープニングレクチャー**
11/30(土) 14:00~15:00

ギャラリートーク ※予約不要・要観覧券
12/8(日)、12/22(日)、1/12(日)、1/26(日) 各日14:00~15:00

※ギャラリートークの予定は変更になる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

開催時間：10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)

観覧料：一般300(250)円、大学・高校生200(150)円 ※ ()内は有料入場20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※11/30~1/23まで企画展半券提示で1枚につき1回無料 **お問合せ**：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

コレクション展Ⅲ 「かわいい日本美術」内での 特集展示

日本美術に登場する鳥獣や草花をはじめ、ちいさなもの、素朴なもの等、見て思わず微笑んでしまいそうな作品を集めたかわいいコレクション展です。



幸松春浦
《清夜》(部分)
昭和前期頃

ちっちゃくて
かわいい!

田能村竹田
《泡茶新書三種》
1831年

大分竹工芸名品展

しくんらいさん
-此君礼賛Vol.8-

~11/26(火) 休展日10/21(月)

大分県立美術館
3階 コレクション展示室

大分県立美術館のコレクションの中でも、竹工芸で初めて人間国宝となった本県出身の生野祥雲齋(1904-1974)の作品を軸とした約300点からなる県内外の竹工芸作品は、質・量ともに国内最大級として知られています。

当館では、竹工芸を大分ならではの文化風土から生まれた主要な地域文化資源と位置付け、コレクション展における特集展示「大分竹工芸名品展-此君礼賛-」をシリーズとして開催しています。

今年度のVol.8では、12月7日から開催予定の「生誕120年・没後50年生野祥雲齋展」に先駆けて、祥雲齋以降の作家を中心に、大分の竹工芸の歴史や変遷を当館コレクションの優品からご紹介いたします。



門田二童《花籠 樹林》昭和後期

みどころ
1

竹工芸の表現は
編んだり組んだり無限大!

幅の広い竹ひごを交互に組み、
生い茂る木々を伸びやかに
表現しています。

こんなに
細かい!

ZOOM UP!

みどころ
2

生野祥雲齋以降、
県内2人目
人間国宝認定!

今年10月に人間国宝の認定を受けた岐部笙芳の作家人生は本作から始まりました。非常に細い、糸のようなひごで編み上げ、浮き上がった文様は夕刻の海を想わせます。



岐部笙芳《花籠 夕風》1991年

140cm
前後の
作品

みどころ
3

人の背丈ほどある
大きな作品!

真竹、女竹、黒竹という3
種類の竹を用い、作家オ
リジナルの筒束編で
制作されました。



長谷川詢《君柢栢(君)》2022年(寄託品)

長谷川詢《君柢栢(栢)》2022年(寄託品)

長谷川詢《君柢栢(栢)》2022年(寄託品)

Photo Kubo Takashi : Courtesy of wamono art

開催時間：10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)

観覧料：一般300(250)円、大学・高校生200(150)円 ※ ()内は有料入場20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※11/22から企画展半券提示で1枚につき1回無料

お問合せ：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

Artist



さとう ひろみ
佐藤広美さん(ソプラノ)

今回でアウトリーチは20回目という佐藤さん。「子どもたちに生演奏の魅力を知ってほしい」と親しみのある童謡から本格的なオペラまで幅広く演奏しました。普段の学校での同活動と異なり、放課後学級だったこともあり、より子どもたちと近い距離でコミュニケーションを取りながら歌えたのが良かったとのこと。今後は学校だけでなく、子どもたちに大きなホールでも生演奏の魅力を味わってもらえるように活動を続けていきたいと語ってくれました。

iichiko総合文化センター

センターでは、子どもたちに音楽家による演奏や舞台公演の鑑賞機会を提供する取り組みを、企業からの支援などにより、学校や地域と連携して行っています。その活動のひとつ、アウトリーチプログラムの「おでかけクラシックコンサート」をご紹介します。

大分県立美術館

身体と感覚を使った遊びとコレクション作品の鑑賞を組み合わせたワクワク・ドキドキの美術体験ワークショップ。今回はしゃぼん玉で楽しみました！

iichiko総合文化センター
大分県立美術館

子どもたちへ

—未来へつなぐ、こころ育む—

アウトリーチプログラム 「おでかけクラシックコンサート」

10月2日(水)
きよかわ放課後チャレンジ教室

今日の会場は『神楽会館』。学校が終わった清川小学校の児童21名がランドセルを背負って会場に集まってきました。いつもは客席に座る子どもたちも今日はステージの上。どんなコンサートが始まるのか期待に胸を膨らませながらその時を待ちます。

ピアノの音色と共に始まったコンサート。ソプラノ歌手の佐藤広美さんが客席の入口から歩きながら登場し、その歌う姿に子どもたちは興味津々。「生演奏の良さをみんなに感じて欲しい、歌声の魅力をもっと知ってもらいたい」という佐藤さんの想いのもと、オペラのアリアからスタート。2曲目は、約100年前に作ら

れたという山田耕筰作曲の『赤とんぼ』。「この曲知ってる!」と歌声に聴き入っていました。「次もみんなが知っている曲」と披露したのは『ちょうちょう』の変奏曲。普段あまり聴くことのないソプラノの伸びやかな歌声で奏でられる童謡は子どもたちにとっても気持ちが良かったようで、目を閉じて聴いたり、一緒に口ずさんだりする様子が印象的でした。そのあとは昔の電話の「ジリリリリ」となる音を表現した『電話』という楽曲を歌い、身近な音を表現することもできる音楽の幅広さを学びました。

次はドイツ語で歌うシューベルトの『鱈(ます)』。言葉はわからずとも歌い方や表情から、楽しい曲? 悲しい曲? 鱈にどんなことが起こったのかなど情景をイメージしながら鑑賞しました。体験コーナーでは『エトピリカ』で、子どもたちの「ラ〜ラ〜」というユニゾンに合わせ佐藤さんが主旋律を歌い、ひとつの音楽をみんなで奏でました。最後には、オペラ



から2曲演奏。声で鐘の音を表現する曲では、佐藤さんの高く透き通るようなその歌声に会場全体が包まれました。ラストは、佐藤さん扮するネジ巻人形の曲。人形の動きが止まると、その人形の発明家である博士が出てきてネジを巻くなどユーモアあふれる楽曲でした。佐藤さんが子どもたちの近くに来ると握手を求め、最後までコンサートを楽しんでいました。



触っても
われない
しゃぼん玉!

9月14日(土) 土曜アトリエ「しゃぼん玉で。」

いつものOPAMが“非日常空間”に

今日のテーマは、みんな大好き「しゃぼん玉」。始まる前からワクワクの子どもたち。まずはみんなにストローが配られ、ハサミで切り込みを入れて外に曲げるところから。しゃぼん液に浸してゆっくり吹くと、しゃぼん玉は大きく膨らみました。次に配られたのは、少しベトベトしたしゃぼん玉液。慎重に吹くと割れにくいしゃぼん玉が完成しました! 軍手を着用することで、表面の細かい繊維が力を分散させるため、しゃぼん玉に触れても割れません。ゆっくり手のひらにのせてポンポン弾ませたり、遊んだり、大興奮の子どもたち。お次はガーゼをかぶせたストローで、しゃぼん玉液をブクブク吹くと、山盛り泡のできあがり! インクを垂らして泡を作って画用紙にのせると、泡がはじけて不思議で素敵な模様が転写されます。思いがけない形や色、模様ができ、ユニークな作品たちが誕生しました。しゃぼん玉で遊んだ後は、この日始まったコレクション展Ⅲ「かわいい日本美術」をみんなで見に行きました。近寄ってみたり、離れてみたり…。うさぎさんやリスさんなど、動物モチーフのかわいい作品を楽しみました。

午後はコレクシ
ョン展Ⅲ「かわいい日
本美術」を鑑賞!





SPECIAL EXHIBITION

10.30(水) - 11.9(土)

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.6

さわる鑑賞「手から始まるアドベンチャー」

おおいた
障がい者
芸術文化
支援センター

6度目となる今回のテーマは「さわる」。「さわる」ことから始まる鑑賞は、どのような体験になるでしょう。見た目は違う手ざわりやにおい。温かかったり冷たかったり。からだ全体を使うのも「さわる鑑賞」の醍醐味です。からだの感覚を研ぎ澄ませて体験し、美術館を出たあとは、小さな冒険の後のように世界がちよっと新しく感じられるかもしれません。手から始まる冒険(アドベンチャー)の旅に、一緒に出かけてみませんか。

会期: 10/30(水) ~ 11/9(土)

時間: 10:00~19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで
(入場は閉館の30分前まで)

会場: 大分県立美術館1階 展示室 A

お問合せ: おおいた障がい者 芸術文化支援センター
Tel. 097-533-4505 (平日9:00~17:00)
Fax. 097-533-4013
E-mail artbrut-oita@emo.or.jp

協力: 豊後大野市(朝倉文夫記念館)

このほか、案内人とともに鑑賞会をめぐるツアーも複数回開催予定。手話通訳付きや「見えにくい・見えない」人に向けたツアーもあります。詳細はおおいた障がい者芸術文化支援センターHPをご覧ください。



▲「富土山立体地図」
株式会社三木製作所



▲「服を土偶に」
堀江武史

【第1部】

展示物すべてをさわって鑑賞することができる「ユニバーサル・ミュージアム」の大分出張展です。2021年に大阪の国立民族学博物館で大規模な特別展として開催され、好評を博した本展。大分にも、選りすぐりの作品たちがやってきます。

【第2部】

大分県内の個人や施設、特別支援学校の人々の手から生まれた作品をご紹介します。今回の展覧会ならではの試みとして、展示作品の一部をさわって鑑賞することができます。



▲甲斐瞳



▲さつき園小島

Pickup 関連イベント

パフォーマンス発表「手から始まる音頭を作ろう」

日時: 11/3(日) 15:00~ 会場: 大分県立美術館1階 アトリウム

現代音頭作曲家の山中カメラ氏を講師に、「手から始まるアドベンチャー」をテーマにワークショップを実施。成果発表として公演を行います。

Oita Hall Navi

大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報 おおいたホールナビ

豊後大野 歌謡コンサート

11/10(日)
【開演】11:00 【終演予定】13:00

【料】S席7,000円、
A席(当日指定)5,000円、
GLチケット(当日指定)2,200円
【所】エイトピアおおの 大ホール
【出】鳥羽一郎、山川豊、木村徹二、
神野美伽
【問】エイトピアおおの
☎0974-22-8000

石川さゆり プレミアム歌謡ショー

11/23(土・祝)
【開演】14:30

【料】7,000円
【所】宇佐文化会館・
ウサノピア 大ホール
【出】石川さゆり
【問】宇佐文化会館・ウサノピア
☎0978-33-3100
(9:00~18:00)

航空自衛隊 西部航空音楽隊 ウインター・コンサート

12/8(日)
【開演】13:30 【終演予定】15:00

【料】無料
【所】国東総合文化センター・
アストくにさき
【出】航空自衛隊西部航空音楽隊
【問】国東市社会教育課
☎0978-72-2121

舞台 『サンタクロースの森』

12/22(日)
①12:00~13:00
②15:00~16:00

【料】一般1,000円、
高校生以下500円
【所】国東市武蔵セントラルホール
【出】国東えんげき工房
【問】国東市社会教育課
☎0978-72-2121

※公演内容が変更となる場合があります。詳しくは各館にお問合せください。

iichiko Grand Theater JUNIOR ORCHESTRA

団員
座談会

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ

今回は、「iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ」に今年度入団した小学生4人にインタビュー。入団のきっかけや最近出演したイベントについてお話を伺ってきました!

一 入団したきっかけを教えてください。

高橋 テレビでヴァイオリンの演奏を見て、面白そうだと思います。はじめました。その後、アカデミーに入り、今年ジュニアオケに入団しました。

雨川 私は4歳からヴァイオリンを始め、先に入団した兄の影響で入団を決めました。

工藤 イベントで観てかっこいいと思える楽器を始め、ジュニアオケフェスティバルに参加して、みんなで演奏したことが楽しかったので入団しました。

藤内 ティンパニに魅力を感じてアカデミーに入団しました。そこで練習を重ね、オーディションを受けて今年の夏、正式に団員になりました。

一 オーディションはどうでしたか?

工藤 とても緊張して、受かるか心配でしたが質問はうまく答えることができました。

雨川 審査の先生方が多くて緊張しましたが、工藤君も同じオーディション日だったので「頑張ろう!」と話しながら乗り越えられました。

工藤 たまたま同じ控室でよかったね。

一 オケはどんなところが楽しいですか?

雨川 学校では関わることのない高校生のお姉さん、お兄さんたちが優しく話しかけてくれたり、



とうない たける
藤内 壮琉さん
(パーカッション/小6)

たかはし ふみひと
高橋 文仁さん
(ヴァイオリン/小5)

くぼた しゅうたろう
工藤 将太郎さん
(ヴァイオリン/小4)

あらかわ きよは
雨川 友音さん
(ヴァイオリン/小5)

高橋 他県の人とうまくできるか不安だったけど、同い年の子どもも多く、たくさん刺激を受けました!

一 これからの課題を教えてください。

藤内 だんだん上達していると思うので、ティンパニなど大きな楽器を演奏したいという目標もありますが、まずは苦手なトライアングルを克服したいです。

高橋 ステージに立つと不安になって、音がどんどん小さくなるので、堂々と演奏したいです。

雨川 先生に注意するところがなくて驚かれるくらい上手になるのが目標です。

工藤 定期演奏会後に頼れる先輩たちが卒団してしまうのは寂しいけど、より楽しく演奏できるようにしたいです!

お菓子をくれたりすることもあって楽しいです。藤内 先生や団員が気軽に話しかけてくれるので楽しいし、練習にも集中できる!

一 初めての遠征「北部九州ジュニアオーケストラフェスティバル(福岡)」の感想を教えてください。

工藤 演奏はもちろんですが、ホテルでみんなと泊まってゲームをしたのが楽しかったです。長い練習の後の温泉も気持ちよかったです。(笑)

ジュニアオケ information

グランツたけた演奏会

【日時】2025年2月16日(日) 15:00開演
【会場】竹田市総合文化ホールグランツたけた
【曲目】花/瀧廉太郎(吉岡侏左編)
ラデツキー行進曲/ヨハン・シュトラウス1世 ほか

今年の定期演奏会は3月30日(日)に開催されます。皆さんの成長が楽しみです。

OPAM美術部

美術が好きな県内の中高生を対象に、月1~2回の活動を行っている「OPAM美術部」。今年度の活動の様子をレポートします!

8/25(日)



今回のテーマは想定デッサン。目の前にモチーフ(描く対象)が用意される静物デッサンと違い、想定デッサンは、何も見ずに想像をしながら表現していきます。最初は赤い紙にリンゴを描きます。光や影の方向を想像しながら、色を塗り足したり、描いたところを指でこすったり…。細かく描写を加えていくことで、立体感やリアリティがどんどん増えていきます。次は黄色い紙にバナナ、さらに紫色の紙にブドウを描きました。描くほどにみんなレベルアップ! 最終課題は好きな色の紙に、白いカップをデッサン。自由な発想や解釈で、思い思いの作品が生まれました。



it's time to enjoy art.